

令和2年度 九文歯科衛生士学院自己評価（年度末）

| | |
|--------------------|--|
| 学校教育基本方針 (教育理念) | 歯科保健指導・歯科予防処置・歯科診療補助を柱とした歯科衛生士の資格を取得するため高度な技術と、理論に関する深遠な考察を醸成し、専門職にふさわしい強い意志と豊かな情操を養い、歯科衛生士という立場から社会に貢献しうる人間教育をめざすものである。 |
| 学校教育目標 | 1 自主・自律を重んじ、意欲ある学生の育成 2 地域・社会に貢献できる歯科衛生士の育成 |
| 重点努力目標 | 1 身なりを清潔にし、歯科衛生士としての知識と技術の醸成 2 時間を守り、何事にも積極的に取り組む行動力の定着 3 社会人として通用するコミュニケーション力の育成 |

(1) 評価実施基準日 中間10月1日、年度末2月1日

(2) 評価基準4：十分達成している3達成している 2：あまり達成されていない 1：ほとんど達成されていない

(3) 評価者 教職員8名。()は昨年度比

| 項目 | 目 標 | 具 体 的 方 策 | 評 価 | | 成果と課題 ○印:成果等(プラス面など) ●印:課題等(マイナス面など) |
|-----------|---|--|-----|---------------|---|
| | | | 中間 | 年度末 | |
| 教育課程・学習指導 | 専門教科やその他の科目を効果的に取り入れ「基礎力」を育成する。 | 専門科目とその他の教科をバランスよく配分し、「基礎力」の育成と自主的な学習ができるよう指導を行う。 | 3.1 | 2.9 (-0.1) | ○外部講師の講義内容と技術の習得をリンクさせるようにしている。○基礎力の習得のため小テストの実施や学習計画表で家庭学習の状況を把握し、また、試験対策では学生が希望する職員が指導できるよう対応した。○コロナ対策の中で、特に、大切な科目が浮き彫りになったと思われる。 |
| | 即戦力となるような職業教育カリキュラムを編成する。 | 校内の実習・演習系の科目をなるべく多く配し、就職先となる病院等の職場に類似した状況で学習できるように努める。 | 3.1 | 3.0 (-0.3) | ○臨床の現場で必要な技術的な面だけでなく患者様に対しての配慮や声掛けなども措置して授業・実習を行っている。●上記のような指導が学生になかなか伝わらない。○今年度は新型コロナウイルス対応でフェイスシールドを付けての実習を実施した。 |
| | | 就職先となる病院等での現場実習などを行う科目を配し、実際の仕事が体験できるように努める。今年度は、新型コロナウイルス対応のため、臨地実習等の実施について慎重かつ安全第一の観点から検討する。 | 3.3 | 3.4 (-0.1) | ③新型コロナウイルス対策は歯科医師会の担当者等と連携し対応を行い、学生は安心して実習に取り組むことができた。○臨床で使用されている器具・材料などをこまめに見直し、現場仕様でできるだけ近づけている。●新型コロナウイルスの影響により、臨地見学実習・ブラッシング指導等、実習先と協議の結果、中止または延期となった。校内実習等に切り替え対応した。 |
| | 指導方法の工夫や企業等の人材を活用し実践的な「基礎力」を育成する。 | 病院等の現場で必要となる「基礎力」は暗記ではなく体得するものであるということに、生徒自ら“気づく”ように努める。 | 3.0 | 3.0 (-0.5) | ③現場で臨機応変に対応できるように相互実習を通して患者様との接し方、コミュニケーションの取り方を体得するよう授業を進めている。●上記の指導の中で、なかなか体得できない学生もおり苦慮している。 |
| | 本校の卒業生を含め、病院等で活躍している人に授業や講演等を行ってもらい、より実践的な「基礎力」を育成できるよう努める。 | | 2.9 | 2.5 (-1.0) | ○今年度はコロナの影響もあり実施できていないが、毎年、歯科医師会や歯科衛生士会主催の講演会に参加させより実践的な基礎力の幾瀬に努めている。 |

| 項目 | 目 標 | 具 体 的 方 策 | 評 価 | | 成果と課題 |
|--------|--|--|----------------|---|--|
| | | | 前期 | 年度末 | |
| 生活指導 | 全教職員で礼儀指導を行う。また、問題行動の予防に努める。 | 挨拶・礼儀及び容儀等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせるよう努める。 | 3. 1 | 3. 1 (-0.3) | ●身だしなみ・挨拶など礼儀指導は常に行っているが、改善が見られない学生もあり、継続的な指導の必要性を感じる。 |
| | | 悩みを抱える学生の早期発見に努め、適切な教育相談を行い、問題行動等を未然に防ぐよう努める。 | 3. 3 | 3. 6 (±0) | ○職員間の情報共有を行い、必要に応じて、週1回来校の長崎国際大の臨床心理士の先生へ面談等を実施し安心して学校生活を送れるようサポートしている。○個人面談を行なって、必要に応じて保護者との連絡も取っている。 |
| 進路指導 | 面談や適性検査等を実施して、学生の希望にマッチングした適切なキャリアサポートを行う。 | 進路意識の調査・把握をし、学年に応じて、就職への動機づけを高めるための個別面談や指導に努める。 | 3. 4 | 3. 3 (+0.2) | ○保護者面談や個別面談を通して、話題にし、意識付けを行っている。 |
| | | 就職活動の進め方のほかに、病院毎の人材ニーズ等を踏まえ、具体的かつ分かりやすいアドバイスに努める。 | 3. 0 | 3. 0 (±0) | ○今年は、コロナの影響で、業者による就職指導をズームでの説明会に変更して実施した。 |
| | 家庭との連携・協力に加え、挨拶・5S運動（躰・整理・整頓・清掃・清潔）やボランティア活動など、豊かな人間を育む教育に努める。 | 3. 1 | 3. 1 (-0.2) | ○教室内の環境整備は十分にできている。○学校周辺や公園などのボランティア清掃を定期的に行っている。 | |
| | 資格取得の指導を徹底し、就職率の向上に努める。 | 国家試験歯科衛生士の資格合格率100%を目指す。 | 3. 9 | 3. 8 (±0) | ○学生の学力状況に応じて、指導計画を作成し、個人指導なども含め、2年次から、きめ細やかな指導で100%合格を常に目指している。 |
| | 採用情報を入手し、就職の門戸を拡大し、学生の希望に沿った歯科医院への就職率100%を目指す。 | 3. 5 | 3. 6 (+0.1) | ○学生の要望や性格等と病院の診療情報等を照らし合わせ学生へアドバイスを行っている。 | |
| 社会人基礎力 | 思考力や創造力を伸ばし、物事に主体的に取り組む力や実行力の育成を図る。 | 現状を分析し、目的や課題を明確にすることにより、課題解決のプロセスを作成することができる能力を育成する。 | 3. 1 | 3. 0 (+0.4) | ○毎年、保健指導の授業では、アクティブラーニング形式の授業を取り入れている。学の課題解決能力育成に繋がっていると思われる。 |
| | | 自ら目標を設定し、周囲の協力を得ながら、失敗を恐れず、ねばり強く取り組むことができる能力を育成する。 | 2. 9 | 2. 9 (+0.1) | ○国家試験合格の目標に向けての取り組みを通じて、指導を行っている。 |

| 項目 | 目 標 | 具 体 的 方 策 | 評 価 | | 成 果 と 課 題 |
|-----------------------------|---|--|---------------|---|---|
| | | | 前 期 | 年 度 末 | |
| 社 会 人 基 礎 力 | コミュニケーション能力を身につけさせ、チームで働く力の育成に努める。 | 専門家の指導やHR活動等を通して、自分の意見を分かりやすく伝える発信力や意見を丁寧に聞く傾聴力と意見や立場の違いを理解できる能力を育成する。 | 2.8 | 3.0 (±0) | ○帰りのHRで週直からの伝達事項などを実施、伝達力や傾聴力の育成を図っている。●傾聴力の育成には難しさを感じるが、その都度、指導を行っている。 |
| | | 服装や髪型が華美にならないよう社会のルール約束を守る力や、ストレスへの対応方法などセルフコントロール力を育成する。 | 3.4 | 3.0 (±0) | ○始業式など全体指導やHRや実習などを通して、常に指導を行っている。○医療人の身だしなみの観点からも指導を行っている。○茶道の授業を通してルールや立ち振る舞いの指導を行っている。 |
| 組 織 運 営 | 経営方針・努力目標に沿って、その実践に努める。 | 明示された中長期の学校経営ビジョンを含め、経営方針・努力目標を全職員が共有し、教育実践に努める。 | 3.0 | 2.9 (-0.1) | ●年度初めの「初めの会」などを通して、明示をされているが、全職員の共通理解が必要である。 |
| | | 教員間の授業研究(打ち合わせ・反省等)を行い、授業内容を相互評価し、教員の専門性や指導力の向上に努める。 | 3.3 | 3.0 (+0.1) | ○授業に向けての、打合せ等を十分に行い反省等も必要に応じて実施している。●教員の専門性を高めるための、研修会が中止やオンライン開催となり、例年依比べると不十分である。 |
| | | 学校自己評価(職員・学生)及び学校関係者評価を年2回実施し、年度末評価をホームページ等で発信する。 | 3.4 | 3.1 (-0.3) | ○昨年度分の評価(自己・学校関係者・学生)HPによる公表はできているが、今年度の評価委員会(1回目)はコロナの影響で実施が出来なかった。 |
| | 定員の確保に向けて学生募集に努める。 | 高校訪問や進路ガイダンス・ホームページ・学院便り等を活用し、教育内容や在校生・卒業生の状況説明や学校のPRに努め、定員の確保に努める。 | 3.5 | 3.3 (-0.1) | ○コロナの影響でガイダンスが中止となっているが、高校訪問では学生支援に関する情報提供やOCでは時間を短縮し内容を工夫し実施した。○HPなどインスタ・ユーチューブでの情報発信を行っている。●定員確保については、高校訪問等の情報では厳しい状況が続いている。体験十種では時間が限られているため、内容がマンネリ化しているきらいがある。 |
| 施設・設備の有効な活用と安全点検等の管理を適切に行う。 | 受験生や保護者に分かりやすい募集要項(学校案内)を作成し、高校訪問・オープンキャンパス・進路ガイダンスに活用する。 | 3.4 | 3.4 (±0) | ○学校案内パンフレットや学生募集ポスターなどは工夫し分かりやすさを心がけている。前述のとおり、インスタやユーチューブなど学校生活を受験生の視覚に訴える情報発信も心がけている。 | |
| | 教育活動や指導は、常に安全を優先して行い、施設・設備の安全点検は月1回以上行う。また、新型コロナウイルス対応についても的確に行う。 | 3.4 | 3.5 (+0.1) | ○コロナ対応については、国からの指示文書や系列の長崎国際大学の危機管理委員会作成の対応マニュアルを参考に万全を期している。○遠隔地からの講師における講座ではオンライン授業を実施した。○臨床実習では実習病院との連絡を密に取り、万全を期した。 | |
| | 日頃から、環境整備を心掛け、省エネ運動を推進し、水道使用量や電気使用量を必要最小限に抑えるように努める。 | 3.6 | 3.6 (±0) | ○節水・節電は日常的に心がけているが、時折、教室の消灯忘れがあるので、気を付けたい。 | |
| | パソコンによる学生情報等の管理と校務処理を推進してデータの共有化を図り、効率的な事務作業に努める。 | 3.4 | 3.4 (±0) | ○個人情報の単利を徹底している。 | |